

# 主要指標の見通し

## 1 人口

コーホート法( )により将来の人口を推計すると、新町の人口は、平成22年に約24,700人、平成27年に約25,500人になる見通しです。少子・高齢化の傾向は加速し、平成27年には高齢化率が約28.0%、年少人口比率が13.5%になると推計されます。

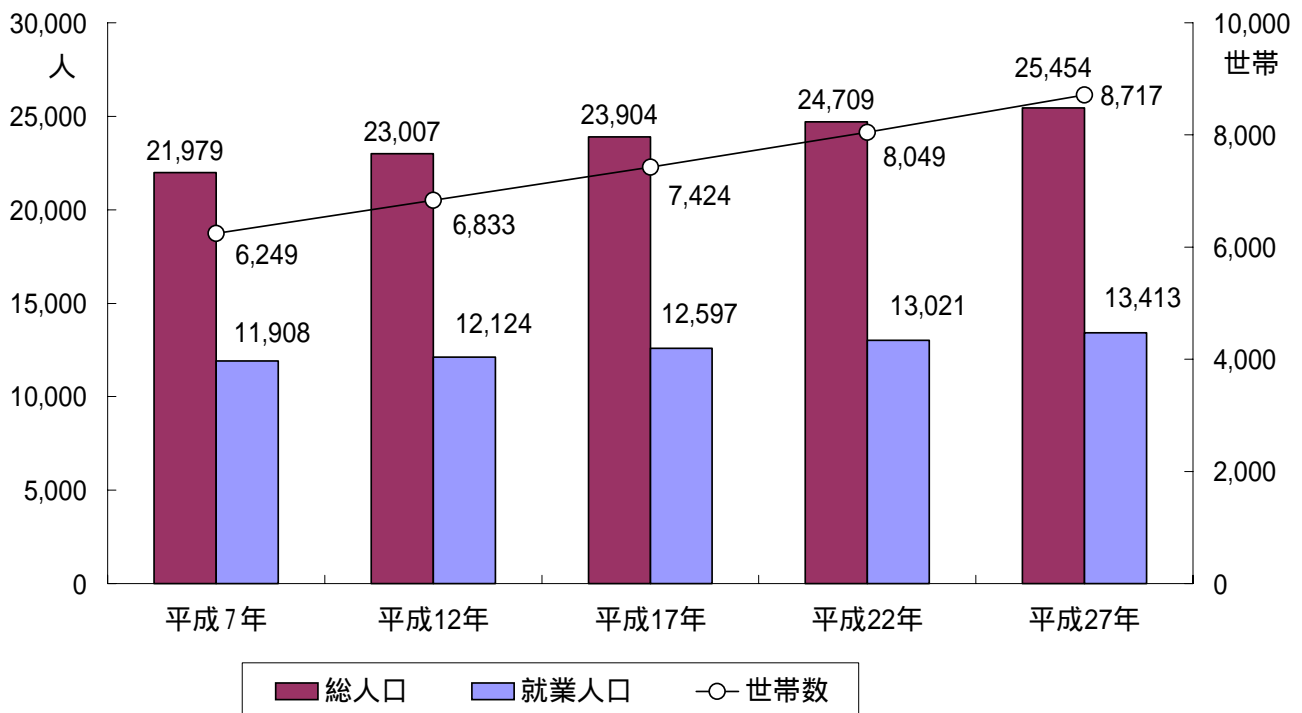
## 2 世帯数

核家族化の傾向を加味しながら新町の世帯数を推計すると、平成27年に約8,700世帯となる見通しです。

## 3 就業人口

現在の就業率を維持すると仮定すると、就業人口は、平成27年には約13,400人になると見込まれます。第1次産業の就業人口は減少し、第2次、第3次産業の就業人口は増加すると推計されます。

人口等の見通し



主要指標の見通し

単位：人，％，世帯

区 分		平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年
総 人 口		21,979	23,007	23,904	24,709	25,454
年 齢 別 人 口	年少人口(0～14歳)	3,872	3,675	3,442	3,360	3,436
	割合	17.6%	16.0%	14.4%	13.6%	13.5%
	生産年齢人口(15～64歳)	13,476	14,077	14,390	14,850	14,891
	割合	61.3%	61.2%	60.2%	60.1%	58.5%
	老年人口(65歳以上)	4,631	5,255	6,072	6,499	7,127
	割合	21.1%	22.8%	25.4%	26.3%	28.0%
世 帯 数		6,249	6,833	7,424	8,049	8,717
1世帯あたり人員		3.52	3.37	3.22	3.07	2.92
就 業 人 口		11,908	12,124	12,597	13,021	13,413
就 業 率		54.2%	52.7%	52.7%	52.7%	52.7%
産 業 別	第1次産業就業人口	2,723	2,046	1,990	1,914	1,824
	割合	22.9%	16.9%	15.8%	14.7%	13.6%
	第2次産業就業人口	3,369	3,563	3,842	4,115	4,386
	割合	28.3%	29.4%	30.5%	31.6%	32.7%
	第3次産業就業人口	5,816	6,515	6,764	6,992	7,203
	割合	48.8%	53.7%	53.7%	53.7%	53.7%

\*平成7年と平成12年については、実績値(国勢調査)。平成17年からは推計値。

\*人口は、1町2村それぞれでコーホート法により推計したものを合算しました。世帯数は、1世帯あたり人数を実績の直線回帰により求めて算出しました。

\*就業人口は、15歳以上人口に対する就業人口の割合について、平成12年の実績が一定に推移すると仮定して推計しました。各産業分野の就業人口は、第1次産業の就業割合を実績の直線回帰とし、第3次産業の就業割合を、平成12年の実績が一定に推移すると仮定して推計しました。

コーホート法：コーホートとは、ある年(期間)に生まれた集団のことをいい、その集団のある期間の人口変化を観察することで将来人口を推計する方法。

#### 4 通勤・通学圏，生活圏

今後も，通勤・通学圏，生活圏の流動は，水戸市への流出が多いと予想されますが，周辺地域の交通網が整備され，生活圏がさらに拡大すると予想されます。